

# 平成27年度 茅野市社会福祉協議会事業報告

茅野市社会福祉協議会では、以下の5項目を主要検討事項と新たな取り組みとして、各事業に取り組みました。

## 1 介護保険制度改正に伴う対応

介護保険の制度改正により、これまでの介護予防事業が新しい介護予防・日常生活支援総合事業として実施されることとなりました。これにより、特に要支援認定者の訪問介護・通所介護サービスをどのように提供していくかが課題となります。茅野市社協では、理事会の中に専門委員会を設置し、対応を協議した結果、サービス利用者等、社協と関わりのある要支援認定者191名（市内の認定者の約38パーセント）を対象に訪問による生活実態・ニーズ把握の聞き取り調査を行うこととしました。この調査結果に基づき、今後は平成29年度の実施に向けて、新しい総合事業の具体的な取り組みについて検討・準備を進めます。

## 2 生活困窮者自立支援法施行に伴う対応

新たに生活困窮者自立支援事業の家計相談支援事業を受託し、生活福祉資金貸付事業や日常生活自立支援事業などの関連する既存事業を有効に活用しながら相談者の支援に努めました。生活就労支援センターまいさぼ茅野市・生活保護の担当部署と常に連携して支援にあたることができました。

## 3 法人後見の取り組み

弁護士・医師などで構成する法人後見運営委員会を設置し、個別の相談事例に対して専門的な立場から様々な意見をいただく機会を作ることができました。また、日常業務の中でも弁護士の先生に相談し、専門家としてのアドバイスをいただける関係を構築することができました。平成27年度は法人後見を1件受任しています。

## 4 (仮) 市民活動センター

茅野市が主催する(仮)市民活動センター設置に関する市民会議で、管理運営計画について検討を進めてきました。当初は茅野市社協がセンター事業を受託する予定でしたが、行政が所有する建物の管理を外部委託することができない等の理由により、最終的に茅野市が直営で運営することとなりました。センターには行政と社協それぞれが職員を配置し、市の業務は主に市職員が、社協ボランティア・市民活動センターの業務は主に社協職員が担当し、新たに行う業務も含め、両者が連携・協力して事業を実施することとなりました。

## 5 ファミリーサポート

茅野市では平成28年度からファミリー・サポート・センター事業を実施することとなり、市の意向を受け、茅野市社協が本事業を受託することとしました。茅野市社協では住民参加型の有償福祉サービス(シャララほっとサービス)を実施してきましたが、これまでの体制では子育て支援のニーズに十分応えることができないことが課題でした。今後は、子どもの一時預かりはファミリー・サポート・センター事業で、それ以外の援助はシャララほっとサービスで対応することにより、子育て中の世帯を支援していきます。

## 【各係の業務分担と主な取り組み】

### I 総務・企画係

平成27年度は、（仮）市民活動センターの建設に伴う旧総合福祉センターから茅野市役所議会棟への事務所仮移転から始まりました。

平成26年度まで茅野市社会福祉協議会の出納管理を茅野市役所へ委ねておりましたが、社会福祉法人の新会計基準への移行も合わせ、茅野市役所からの会計独立も実現しました。このことに伴い、これまでの茅野市社会福祉協議会の各種規程の見直し、職員としての規律の再構築においてガバナンスの強化及び法令遵守のための基盤づくりに努めました。

#### (1) 理事、監事、評議員の研修会の開催

平成27年度は、9月に須坂市で行われた県社会福祉大会への参加を初め、2月には一般社団法人地域ケア総合研究所 所長 竹重俊文氏をお招きし、福祉推進委員との合同研修会を開催しました。

#### (2) 職員の福祉意識及び資質の向上のため職員研修を実施

新規採用者の職場内研修を初め、各種専門分野への研修へ参加しました。また、茅野市社会福祉協議会発展強化計画に基づき、職員によるワーキンググループにて茅野市社会福祉協議会人材育成基本方針（最終案）を策定し、平成28年度の職員研修の基盤となる体制が整いつつあります。

#### (3) 茅野市役所会計からの独立及び新会計基準に移行したことに伴い、新会計基準を遵守し適切な会計業務を実施

預金・現金の出納に関し、新会計基準に則り適切に対応することができました。これまで、職員個々の判断において立替払い等が行われていた経緯がありましたが、仮払金・小口現金の導入において、総務・企画係での事前確認を徹底して行いました。また合わせて郵券に関するも金券であることの理解を職員に再度確認することで、管理の徹底を図りました。

給与事務に対しても平成26年度まで外部委託を行っていましたが、独自事務処理を行うことで、経費の節減・事務処理の効率化を図りました。

#### (4) 民間職員としての規律の再構築において、組織のガバナンスの強化及び法令遵守のための基盤づくりの実施

前述の茅野市役所からの会計独立に伴い、これまで「茅野市役所に準ずる…」といった各種規程を見直しました。労働基準法その他の法律に則った就業規則・給与規程の改定を行い、総務・企画係として職員の勤勉に係るものの整備を行いました。出勤簿・出張・復命書に関するルールの再確認、車両管理・貸与被服管理などの民間職員としてのモラル再構築を行いました。また、社会保険労務士との業務委託を行い、各種規程の見直しについても協議することで、組織としてのガバナンスの強化及び法令遵守に努めました。

### II 地域生活支援係

生活課題の早期発見や潜在的なニーズの把握を積極的に行い、生活のしづらさを抱えた個人やその家族に寄り添い、共に課題解決ができるよう総合的な支援に努めました。具体的には、総合相談事業、貸付事業、日常生活自立支援事業、チャララ・ほっとサービス等の担当事業を集約整理し、事務局の担当職員と保健福祉サービスセンターのコミュニティ・ソーシャル・ワーカー（CSW）とが連携し、課題解決を図るための支援を実践してきました。

また、主要検討事項に掲げていた法人後見やファミリー・サポート・センターに関する取り組

みについて、平成28年度に事業化するための具体的な取り組みを実施しました。

平成27年度は、以下の4項目を重点にして各事業に取り組みました。

(1) 潜在的な生活課題・福祉課題の把握

個別訪問活動や小地域ネットワーク活動を通じて構築したネットワーク体制等を基盤に、要  
援護者を早期に発見し、必要なサービスに繋ぐといった機能の充実・強化に努めました。

(2) 個別の相談・支援に関わる社協事業との連携

課題解決のために、総合相談事業、貸付事業、日常生活自立支援事業などの制度を活用し、  
担当職員と連携して問題解決に繋げる支援体制を構築しました。

(3) 支えあい活動を実践するためのネットワークづくり

地区コミュニティセンターや保健福祉サービスセンターと協働し、各地区の特色を活かした  
地区社協事業の展開や第二次地区行動計画の計画実践初年度としての取り組み、福祉推進委員  
活動の支援を実践しました。

(4) 貸付事業等を中心とした生活困窮者の課題解決

利用者の貸付審査や償還指導だけでなく、家計収支全体の改善を図り、生活の困窮状態から  
早期に脱却できるよう、利用者と共に原因の分析と解決すべき課題の整理を行いながら、課題  
解決に向けた伴走型の支援に努めました。

### Ⅲ 在宅福祉係

在宅福祉係は、介護保険法及び障害者総合支援法関係の事業を実施しています。

24時間ホームヘルプ体制の中で研修等を重ね、地域生活支援係や各保健福祉サービスセンター  
との連携を密にしながら利用者へのより良いサービス提供に努めました。

平成27年度は下記の5項目を重点に事業に取り組みました。

(1) サービスの向上を図るため、内部研修や外部研修を通して、関連する諸制度の理解、介護技  
術や認知症等に関する専門知識の習得に努め、職員の資質向上を図るとともに、尊厳のある接  
遇を徹底し、利用者の立場にたった福祉サービスの提供に努めます。

○研修（内部・外部）

開催日	研修内容
4月21日（火）	東部・西部訪問介護事業所介護スタッフ合同研修会（茅野市役所） 各グループに分かれ「正しい接遇について・実施希望研修等」検討会 各事業所に分かれ業務連絡及び困難事例の対処検討
5月21日（木）	介護保険事業者・介護支援専門員連絡会議と医療と介護の連携連絡会議（茅野市役所） 講演 茅野市らしい地域包括ケアについて 講師 小口医院 医師 小口晋平氏
7月3日（金）	長野県健康福祉部介護支援課主催（松本浅間文化センター） 「平成27年度 介護保険指定居宅介護支援及び訪問介護に係る研修会」
7月22日（水）	長野県健康福祉部介護支援課主催（松本浅間文化センター） 「平成27年度 介護保険通所介護事業に係る研修会」
9月7日（月）	第31回諏訪圏域介護保険指定事業者連絡協議会研修会（茅野市役所） 講演「介護現場の接遇マナー研修」 講師 株式会社しのコーポレーション 代表 濱島しのぶ氏
10月10日（土） ～13日（火）	障害者同行援護従業員者養成研修会（松本市） 西部訪問介護事業所介護スタッフ参加
11月12日（木） 16日（月）	救命処置緊急対応研修 ～より多くの命を救うために～（西部デイ・あすなる） 講師 茅野市消防署

開催日	研修内容
11月20日（金）	やすらぎの丘 居宅介護支援事業所交流会（東部保健福祉サービスセンター） 研修「地域包括ケアシステムにおけるケアマネの立ち位置」～どうやって生き残るか～ 医療介護福祉コミュニティネットワーク国際研究所 所長 鷹野和美氏
11月24日（火）	東部・西部訪問介護事業所及び社協介護スタッフ合同研修会（茅野市役所） 講演「認知症の認知機能障害」～どのように介護していくか～ 講師 塩つばデイサービス 作業療法士 松村奈美
1月9日（土）	介護支援専門員研修会（茅野市役所 大会議室） ・障害福祉サービスの制度について・介護保険との併給事例・第2号被保険者事例 講師 諏訪地域障害者自立支援協議会相談支援部会 部会員の皆様
2月9日（火）	福祉関係者のためのマイナンバー研修会（松本市総合福祉センター） 基調講演「マイナンバー制度について」 長野県企画振興部情報政策課、健康福祉部介護支援課、健康福祉政策課、障害者支援課
毎月	介護保険事業所サービス提供者会議（交代で出席）

(2) 介護保険法、障害者総合支援法等の法令遵守に努めます。

○県指導監査

- ・11月12日に居宅介護支援事業所（介護保険関係）
- ・12月1日に東部・西部訪問介護事業所（障害福祉関係）
- ・12月8日に就労継続支援事業所 あすなろセンター（障害福祉関係）

以上で指導監査が実施され、特に大きな指摘事項はありませんでした。

(3) 社会福祉協議会の使命を意識し、職員一人ひとりが本会の一員としての自覚を持ち、係を超えての情報共有や連携強化に努め、専門的知識や技術を活かした質の高いサービスを提供すると共に各保健福祉サービスセンター等との連携も密にして、地域福祉向上に貢献していきます。

- ・介護支援専門員連絡会、サービス提供者事業所連絡会及び各保健福祉サービスセンター開催の打合せ会議にも積極的に参加し連携を密にしました。

(4) 介護人材の定着及び働きやすい職場環境づくりを進めるために、業務改善に取り組み、職場環境の改善を図ります。

- ・4月21日にホームヘルパー合同会議を開催して「社協事業計画説明」や「職員の働きやすい職場環境づくり」のためにどうするか、また「どんな研修を希望するか等」検討しました。
- ・11月12日及び16日には、「緊急時に素早く対応できるように」と応急手当講習会を茅野市消防署職員に講師を依頼し、介護スタッフ対象で実施しました。

（会場：西部デイサービスセンター・あすなろセンター）

- ・各訪問介護事業所・西部デイサービスでは、毎月職員会議を実施し課題検討・連絡・業務改善のために職員会議を毎月実施しました。

(5) 社会福祉士・介護福祉士等の現場実習生の受け入れを行い、福祉人材育成のために協力していきます。

- ・平成27年度は、下記の学生を受け入れ研修をしていただきました。

[研修先 各訪問介護事業所・西部デイサービスセンター・あすなろセンター]

長野県福祉大学校 介護福祉科	学生6人	(7/9～26、8/31～9/2)
松本医療福祉専門学校	学生3人	(10/20～31、12/9～10)
松本短期大学 介護福祉学科	学生1人	(8/31～9/2)

## IV ボランティア・市民活動センター

ボランティア・市民活動センターは、市民の誰もが主体的にまちづくりに参画できる環境づくりや意識づくりに取り組むための、講座や研修会を開催し、ボランティア活動がより活発になるための、ボランティアの輪を広げる企画及び機会をつくり、ボランティア・市民活動を推進・支援しました。

また、平成28年秋にオープン予定の（仮）市民活動センターの開設に向けた準備に取り組みました。

平成27年度は、以下の3項目を重点にして各事業に取り組みました。

- (1) ボランティア・市民活動をする市民一人ひとりがより力を発揮できる調整機能(コーディネート)の強化を図りました。

地域で活動する地区ボランティア主催のサロンやグループ活動に出向き、活動や運営企画の相談に応じ活動が活発になるよう応援支援しました。また、新たなボランティア活動の発見と活動の魅力を伝えるきっかけづくりの企画やサロン活動に活かせるレクリエーション体験講座等を開催し、活動者の交流や学びの機会を持ち活発に活動できるよう支援しました。

- (2) ボランティアグループそれぞれの活動状況を把握し、実情に即した相談支援を図りました。

ボランティアグループの活動が活性化するために、ボランティア登録票の改善やPRポスターづくりに取り組み、「ボランティア活動魅力BOOK」を作成しました。それぞれのボランティアグループの活動のみえる化ができ、活動状況がわかりやすくなったことにより、ボランティアをしたい、してほしいニーズの対応がしやすくなりました。

- (3) “ふくし”の心を育む福祉教育（共育）・学習を推進しました。

市内の小学生・中学生・高校生が福祉について学ぶ場として、出前福祉教室を開催し、地域の当事者の方に協力していただき、高齢者や障害者との交流を通して、福祉の心を育む福祉教育・学習の機会を提供しました。

## 【事業の概要】

### 《法人・地域福祉推進事業》

#### 1 法人運営事業

(1) 管理運営事業

平成27年度決算額 59,335,709円

##### ① 経営委員会・理事会・評議員会の開催

開催日	会議名	主な内容
5月1日(金)	経営委員会	・ 常務理事の人選について ・ 専門部会の設置について ・ (仮) 市民活動センターの状況について
5月18日(月)	経営委員会	・ 定款の一部変更について ・ 評議員の選任について ・ 平成26年度事業報告・会計決算について
5月21日(木)	理事会	・ 定款の一部変更について ・ 評議員の選任について ・ 平成26年度事業報告・会計決算について ・ 監査報告
5月27日(水)	評議員会	・ 定款の一部変更について ・ 理事の選任について ・ 平成26年度事業報告・会計決算について ・ 監査報告
6月5日(金)	経営委員会	・ (仮) 市民活動センターの状況について
7月27日(月)	経営委員会	・ (仮) 市民活動センターの状況について ・ 法人後見事業について
9月7日(月)	経営委員会	・ (仮) 市民活動センターの状況について
10月20日(火)	経営委員会	・ 評議員の選任について ・ 平成27年度補正予算(第1号)について ・ 平成27年度中間決算について
10月27日(火)	理事会	・ 評議員の選任について ・ 平成27年度補正予算(第1号)について ・ 平成27年度中間決算について
11月6日(金)	評議員会	・ 平成27年度補正予算(第1号)について ・ 平成27年度中間決算について
12月8日(火)	経営委員会	・ (仮) 市民活動センターの状況について ・ 平成28年度予算について ・ ファミリー・サポート・センター事業について
3月16日(水)	経営委員会	・ 評議員の選任について ・ 平成27年度補正予算(第2号)について ・ 給与規程等の一部改正について ・ 経理規程の一部改正について ・ 就業規則等の制定について ・ 給与等に関する規程等の制定について ・ 平成28年度事業計画・資金収支予算について

開催日	会議名	主な内容
3月23日（水）	理事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評議員の選任について</li> <li>・平成27年度補正予算（第2号）について</li> <li>・給与規程等の一部改正について</li> <li>・経理規程の一部改正について</li> <li>・就業規則等の制定について</li> <li>・給与等に関する規程等の制定について</li> <li>・平成28年度事業計画・資金収支予算について</li> </ul>
3月29日（火）	評議員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度補正予算（第2号）について</li> <li>・平成28年度事業計画・資金収支予算について</li> </ul>

## ②定例監査の実施

5月18日（月）	平成26年度の事務事業・決算等について
----------	---------------------

## ③役員・評議員研修等

開催日	内容
9月9日（水）	<p>県社会福祉大会</p> <p>&lt;参加者：理事・評議員・職員 計19名&gt;</p> <p>「人と人がつながり 支え合う地域づくり」</p> <p>講師：清水哲氏</p>
10月9日（金）	<p>諏訪ブロック社協 役員及び職員合同研修会</p> <p>&lt;参加者：理事・職員 計7名&gt;</p> <p>「Power of community ～地域に力を～」→そのためには「個人力」</p> <p>講師：IN・COM 代表取締役社長 大嶽一省氏</p>
11月25日（水）	<p>社会福祉法人トップセミナー</p> <p>&lt;参加者：理事・職員 計5名&gt;</p> <p>「社会福祉法人に求められ組織改革、財政改革」</p> <p>講師：太陽有限責任監査法人顧問 公認会計士 松井久氏</p> <p>「法人連携で取り組む生活困窮者の就労支援」</p> <p>講師：社会福祉法人中心会理事長 神奈川県社会福祉協議会経営者部会委員 浦野正男氏</p>
2月19日（金）	<p>役員研修会</p> <p>&lt;参加者：理事、評議員 計18名&gt;</p> <p>「誰もが住み慣れた地域で暮らすこと」を支援する</p> <p>講師：一般社団法人地域ケア総合研究所 所長 竹重俊文氏</p>

## ④ 新会計基準移行及び茅野市役所会計課からの業務独立

新会計基準に基づく新経理規程に準拠した会計業務の実施に努めました。小口現金・仮払金・立替金の使用方法を職員に徹底することで、これまで行われていた職員の立替払いを撤廃し、現金管理を徹底しました。

## ⑤ 給与事務の独立

平成26年度まで行われていた給与事務の委託を取り止め、独自業務にて対応しました。このことにより、経費の節減・事務処理の効率化を図ることが可能となりました。

## ⑥ 諸規定の整備

定款の一部変更、就業規則、給与等に関する規程の改定を行いました。これまで「茅野市役所に準ずる…」といった各種規程を見直しました。社会保険労務士との業務委託を行い、労働基準法その他の法律に則った民間組織としてのガバナンス強化、法令順守に努めました。

⑦ 勤怠管理の整備

職員の勤怠に係るものの整備を行いました。出勤簿・出張・復命書に関するルールの再確認、車両管理・貸与被服管理などの民間職員としてのモラル再構築を行いました。

⑧ 職員研修事業

職員の資質向上のため、独自の研修及び市の研修会へ参加しました。

開催日	内容
6月16日(木)	地域包括ケアの考え方と実際 <参加者：48名> 講師：社会福祉法人富士見町社会福祉協議会 介護保険事業所 所長 小林功氏

⑨ 社協会費の収納業務

茅野市社協は、主な自主財源の一つとなっている会費を、当法人の趣旨にご理解・ご賛同をいただくなかで納めていただいております。納入いただく会費の金額によって普通会员、賛助会員、特別会員となっています。平成27年度の協力世帯は8,921世帯で、全世帯の39.8%でした。

平成27年度 会費会員別集計表

地区名	普通会员		賛助会員		特別会員		合計	
	(1~1,999円)		(2,000~2,999円)		(3,000円以上)			
	世帯数 (件)	金額 (円)	世帯数 (件)	金額 (円)	世帯数 (件)	金額 (円)	世帯数 (件)	金額 (円)
ちの	1,614	1,584,403	118	236,000	54	177,000	1,786	1,997,403
宮川	1,489	1,465,272	72	144,000	46	269,000	1,607	1,878,272
米沢	477	472,000	25	50,000	12	40,000	514	562,000
豊平	939	923,700	18	36,000	24	76,000	981	1,035,700
玉川	1,702	1,667,007	58	116,000	23	120,000	1,783	1,903,007
泉野	353	345,590	14	28,000	9	29,000	376	402,590
金沢	496	489,400	29	58,000	14	49,000	539	596,400
湖東	471	467,100	18	36,000	14	51,000	503	554,100
北山	501	496,900	16	32,000	9	27,000	526	555,900
中大塩	266	257,800	21	42,000	18	56,000	305	355,800
地区外	1	1,000	0	0	0	0	1	1,000
合計	8,309	8,170,172	389	778,000	223	894,000	8,921	9,842,172

(H27.7.1 世帯数 22,434 件 収納率 39.8 %)

(平成26年度 会費実績)

合計	普通会员		賛助会員		特別会員		合計	
	世帯数	金額	世帯数	金額	世帯数	金額	世帯数	金額
合計	8,429	8,431,169	417	834,000	229	794,000	9,075	10,059,169

(H26.7.1 世帯数 22,213 件 収納率 40.9 %)

(2) 広報・啓発事業

1,354,000円

① ホームページの更新

誰もが見やすく、タイムリーな情報提供を行うため、ホームページの随時更新を行いました。このことにより社協情報紙「やらざあ」をホームページで読まれた県外の方々からもご意見をいただけるようになりました。



- ② 情報紙の発行  
社協活動や地域活動情報の提供を行うため社協情報紙「やらざあ」の発行を行いました。
  - ・発行：年6回
  - ・全戸配布：19,100部
- ③ 第52回茅野市社会福祉大会の開催  
11月1日（日）マリオローヤル会館にて開催しました。
  - ・参加者：約250名
  - ・テーマ：『夢の実現の仕方』
  - ・表彰：地域福祉功労者 3団体、社会福祉貢献者 2名
  - ・福祉講演会：講師 松山三四六氏  
演題 『年中夢休』

## 2 小地域福祉活動推進・支援事業

(1) 小地域福祉活動推進事業 34,106,808円

- ① 地区社会福祉協議会活動の支援  
各地区の住民自身による福祉活動を推進していただくために、地区社協活動を各地区コミュニティセンターと協働で支援しています。
- 地区社協の主な活動
  - ・地区地域福祉行動計画の推進（第2次計画実施初年度）
  - ・地区ボランティア活動費の助成
  - ・福祉推進委員活動費の助成
  - ・福祉推進委員連絡会や研修会の開催
  - ・福祉まつり等の開催
  - ・戦没者等追悼式の開催
  - ・情報紙の発行
  - ・高齢者等の昼食会や配食
  - ・高齢者と子どもの交流活動
  - ・赤い羽根共同募金活動
  - ・社協会費収納協力 など
- ② 福祉推進委員活動の支援  
支えあいマップづくりをはじめ、福祉推進委員活動全般について相談に応じ、活動を支援しています。
- 福祉推進委員研修会を開催（福祉21茅野・茅野市共催）  
福祉推進委員、地区社協関係者等を対象に研修会を開催しました。
  - ・期 日：平成28年2月19日（金）
  - ・会 場：茅野市役所 大ホール
  - ・参加者：約120名
  - ・内 容：基調説明 「福祉推進委員の役割について」  
基調講演 一般社団法人地域ケア総合研究所 所長 竹重俊文氏  
『誰もが住み慣れた地域で暮らすこと』を支援する
- 福祉推進委員を中心とした各区、自治会の取り組み
  - ・福祉推進委員会の組織化
  - ・高齢者の食事会やお楽しみ会、配食
  - ・地区単位で福祉推進委員連絡会を組織化して情報交換、情報誌発行、研修会を開催
  - ・区内の花壇の整備やプランターへの花植え、畑作り

- ・お花見会、カレー会
- ・福祉推進委員だよりの発行
- ・福祉や生活の課題を話し合う懇談会
- ・福祉についての講演会や研修会、学習会
- ・困りごとなどについて個別の訪問聴き取り調査
- ・ボランティアや高齢者クラブなどの関係団体による定期的な情報交換
- ・災害時要援護者支えあいマップ（おたがいさまっぷ）づくり
- ・自主防災組織等と協働しての避難訓練
- ・買い物やゴミ出しなどの個別支援活動
- ・区内の見回り、除雪
- ・高齢者宅の訪問、見守り、声かけ など

③ 住民の日常生活支援（個別訪問支援活動の実施）

C S Wがひとり暮らしの高齢者世帯等を訪問し、必要に応じて様々な支援活動を行っています。

○個別訪問及び小地域活動の状況（訪問延べ件数及び各地区・行政区の会議参加件数）

※末尾資料（p 30、31）参照

(2) 福祉団体助成事業

4, 253, 034円

社会福祉団体（8団体）へ、790,000円の助成金を交付しました。

- ・茅野市社会を明るくする運動実行委員会 80,000円
- ・茅野市遺族会 190,000円
- ・茅野市手をつなぐ育成会 50,000円
- ・茅野市赤十字奉仕団 30,000円
- ・茅野市身体障害者福祉協会 120,000円
- ・茅野市保護司会 90,000円
- ・茅野市民生児童委員協議会 200,000円
- ・茅野市少年警察ボランティア協会 30,000円

### 3 相談・生活支援事業

(1) 総合相談事業

538,000円

① 心配ごと相談

福祉・生計・住宅・家族その他の心配ごとに対し、経験豊かな民生児童委員経験者が相談に応じ、悩みや問題を傾聴する中で、心の整理の糸口を探します。また必要に応じ、社協の法律相談などの専門相談窓口への紹介や他の専門機関への橋渡しをしています。

- ・開設日時：毎週金曜日 午前9時～午後0時
- ・会場：茅野市役所議会棟 相談室
- ・相談員：民生児童委員経験者または学識経験者（4名）及び社協事務局長  
計5名（相談日1名体制で対応）
- ・相談件数

	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度
開設日数	50日	51日	48日	50日	49日
相談件数	28件	34件	27件	37件	45件

- ・対応状況：助言24件、他機関を紹介3件、解決0件（重複有）

② 結婚相談

結婚相談は、7名の相談員で構成され、広く結婚の紹介ならびに相談に応じ、結婚成立のために寄与すると共に、福祉の増進に務めています。

- ・開設日時：毎月第1・第3土曜日 午後1時～午後4時  
毎月第2・第4金曜日 午後6時30分～8時30分
- ・開催回数：47回（月4回）
- ・会場：茅野市役所議会棟 和室
- ・相談員：委嘱した結婚相談員（相談日には3～4名体制で対応）
- ・新規登録者数：男性21名（－8名）、女性13名（＋2名） ※（ ）内は前年度比
- ・成婚数：3件≪内 登録者同士の成婚2件≫（－6件） ※（ ）内は前年度比
- ・相談件数

	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度
男性	181件	229件	186件	196件	238件
女性	95件	82件	105件	70件	79件
計	276件	311件	291件	266件	317件
本人来所率	96.4%	98.1%	96.2%	92.5%	94.0%

### ③ 司法書士の法律相談

身近な法律相談窓口として、住民のあらゆる生活問題を受け止め、問題解決につなげていくための、専門的な助言（小額訴訟手続きや多重債務に関する助言等）や情報提供を行なっています。

また、必要に応じて弁護士あるいは家庭裁判所等の専門機関への紹介を行っています。

- ・開設日時：毎月第2水曜日 午後3時～午後5時 完全予約制（1日3件まで）
- ・会場：茅野市役所議会棟 相談室
- ・相談員：司法書士会茅野地区会（成年後見制度研修修了者4名）
- ・相談件数

	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度
開設日数	12日	12日	8日	12日	12日
相談件数	30件	17件	14件	22件	22件

- ・対応状況：解決20件、他機関を紹介4件、その他42件

### ④ 心の健康相談室

家族のことや職場などでの人間関係により精神的に不安定な状態にある方に対し、問題解決に向けて適切なカウンセリングを行い、精神的な健康を援助しています。

心配ごと相談などからの紹介を受けて、随時開設をしています。

相談援助内容は完全予約制の面接相談と相談者によっては、電話相談にも応じています。

- ・開設日時：随時（祝祭日及び年末年始を除く）
- ・会場：茅野市役所議会棟 相談室
- ・相談員：精神保健福祉士 1名
- ・相談件数

	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度
開設日数	2日	2日	3日	3日	3日
相談件数	2件	1件	3件	3件	3件
相談来訪者数 （延べ）	2名	1名	3名	3名	3名

- ・対応状況：解決0件、他機関を紹介1件、その他2件

## (2) シャララほっとサービス事業

3,205,528円

安心して暮らせるために、ボランティア活動と公的なサービスの中間的位置付けとして、茅野市社協独自で創設し、実施している住民参加型福祉サービスです。

公的な福祉サービスやボランティア活動などで対応できない困りごとに対して、協力会員と

して登録した市民が手助けの活動をしています。利用を希望する方も会員登録をしていただき、1時間当たり700円～850円の利用料を負担しています。

また、主要検討事項に掲げていたファミリー・サポート・センターについて、茅野市こども部こども課に協力して、6月に市内の保育園通園世帯、学童クラブ利用世帯、検診受診世帯等約2,000強世帯を対象にファミリー・サポート・センターに関するアンケートを実施し、調査結果を基にして、茅野市が平成28年度から実施する本事業の準備を協働で取り組みました。

・利用実績

	高齢者世帯	障害者のいる世帯	子育て中の世帯
状 況	骨折、足腰の悪い方、力仕事 が困難な方、認知症、入院 中・寝たきり、退院後間もな い方など	心の病（うつ病、統合失調症 等）を持つ方、視覚障害の方、 車椅子の方、難病の方など	母子家庭、障害児家庭、共稼 ぎの家庭、親族が遠方の家 庭、母親が心の病など
援 助 内 容	掃除、入院中の洗濯、食事作 り、買い物、洗濯、話し相手、 院内介助、可燃ごみ出し、よ しず掛けと取り外し、散歩介 助、布団干し洗濯物届けなど	掃除、院内介助、リサイクル ごみ分別出し、買い物、買い 物付添い、雪かきなど	保育園から帰宅後の見守り、 遠方出張の見守り、障害児水 泳教室参加中の下の子の見 守り、施設での見守り、産前 の調理、買い物など
利 用 世帯数	30世帯	14世帯	23世帯
延べ利 用回数	303回	96回	166回

○シャララ・ほっとサービス運営委員会の開催（委員9名）

事業の適正な運営を行うため、計3回の運営委員会を開催し協議してきました。

・研修：①地域子育て支援士2種（5月：10名）

②長野県社協主催「信州くらしの支えあいネットワーク全体会議」（7月：3名）

○協力会員研修会

（茅野市社協・富士見町社協・原村社協住民参加型福祉サービス事業合同研修会）

・開催日時：11月9日（月）

・会 場：茅野市文化センター

・基調講演：一般社団法人地域ケア総合研究所 所長 竹重俊文氏  
『誰もが住み慣れた地域で暮らすこと』を支援する

・参加者：130名

○登録状況

・登録利用会員数：112名（内 新規64名）

・登録協力会員数：43名

(3) ひとり暮らし安心コール事業

188,800円

ひとり暮らしの高齢者と定期的に電話でコミュニケーションを図ることにより、安否確認や健康状態、生活状況を確認すると共に、孤独感の緩和を目的に実施しました。

・事業内容：最大週2回本人の希望する曜日と時間に協力者より電話をかける。

・協力者：8名

・対象人数：おおむね65歳以上のひとり暮らしの高齢者 126名

・通話実績（不在回数除く）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回数	76	78	84	85	79	75	81	77	80	75	74	80	944

(4) 地域活動支援センター事業 (ピアあすなろ)

5,037,160円

ピアあすなろにおいて、就労支援事業所に通えない障害者を対象に、交流の場及び作業を通じて機能訓練や社会参加の場を提供しました。

○通所人員

2名 (平成27年4月1日現在)

3名 (平成27年10月1日現在)

2名 (平成28年3月31日現在)

○稼働・通所日数

年間稼働日数 240日

1日平均通所人数 1.7人

○目的

障害のある方(身体・知的・精神)に対して、様々な活動を提供して、安心して過ごしていただくことを心掛けています。また、知識や能力の向上のために支援を行っています。

○支援内容

- ・利用者の特性や能力に応じた活動や機会を提供します。
- ・利用者の日常生活、社会生活や活動の支援をします。
- ・自主的な活動の支援や地域との交流を図るための機会を提供し、その他自立した日常生活や社会生活を営むために必要な支援を行っています。

○活動内容

- ・余暇活動：個々のペースに配慮しながら、季節に合わせて、様々な活動を取り入れています。  
料理、編み物など
- ・運動：体力づくりのため、散歩や軽スポーツも取り入れています。  
柔らかなボールによるキャッチボール、ボーリングゲームなど
- ・創作・作業活動：独自の感性で新たなものを作ったり、軽作業も行っています。  
カレンダー、牛乳パック椅子、ハンカチ等への刺繍、畑・花壇づくりなど  
創作・作業活動で製作した牛乳パック椅子等は、社会福祉大会等の会場で販売し、年間13,860円の収入がありました。この収入は、活動に携わった通所者2名に配分支給いたしました。

○諸活動等

《年間を通して実施したもの》

- ・機能訓練として月1回程度軽スポーツ訓練等を実施
- ・民生児童委員との訪問交流 11回、8地区、延べ人数48名
- ・手話ダンスボランティア「虹の会」との交流会を毎月1回実施
- ・誕生会を当該月中に実施
- ・諏訪養護学校生徒現場実習受け入れ
- ・定例社協職員会議 (毎月月中旬実施)
- ・定例職員会議 (毎月下旬実施)

《個々に実施したもの》

- ・諏訪地区身障者スポーツ大会 (茅野市運動公園) 5月30日 (土)
- ・あすなろセンター合同納涼祭 7月25日 (土)
- ・「第34回ふれあいのつどい」への参加 (茅野市民館) 8月30日 (日)
- ・ピアあすなろ入所判定会議 (茅野市役所) 9月16日 (水)
- ・ミニ運動会 (ちの地区コミュニティセンター) 10月20日 (火)
- ・クリスマス会「ごんじいさんとその仲間たち」 12月9日 (水)
- ・お楽しみ会・昼食会 12月22日 (火)
- ・外食会 呉竹鮎 3月24日 (木)

《ピアあすなろの独自活動》

・ハロウィン

デコレーションクッキーをつくり職員等に配る 10月30日（金）、11月4日（水）

・節分の豆まき 紙を丸めた豆をまく 2月17日（水）

・年度末大掃除 3月22日（火）

(5) 介護予防通所事業（塩つぼの湯デイサービス） 17,776,766円

要介護状態等になるおそれの高い高齢者（二次予防事業対象者）を、通所サービスを利用することによって要介護状態になるのを未然に防止することを目的に、高齢者福祉センター塩壺の湯において、送迎・食事・相談・介護予防メニュー（選択）及び交流活動等を実施しました。作業療法士による運動機能評価や個別指導を実施しました。

・実施日：毎週火・水・木・金・土（祝日及び年末年始は除く）

・利用時間：午前10時～午後4時

・実施状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回数	21	19	20	22	29	19	23	19	19	20	19	22	242
利用者数	52	59	60	60	56	54	60	59	60	58	59	56	693

(6) 外出支援事業（移送サービス） 7,125,322円

一般の交通機関を利用して外出することが困難な市民の生活圏の拡大と社会参加を支援するために、福祉車両4台で送迎サービスを実施しています。

平成27年度は、運行協力員13名とタクシー業者2社により実施しました。

・延利用人数：4,768名

・新規登録：14名

・利用件数（前年度と比較し、総件数で676件の減）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	411	396	431	456	402	380	368	381	399	354	368	422	4,768

(7) 配食サービス事業（おたっしや弁当） 9,460,557円

高齢者や障害のある方などに栄養のバランスのとれた食事を提供すると共に、配達員による見守り活動としても有効に機能しています。

・弁当代：450円（内個人負担350円）、おかずのみ：370円（内個人負担270円）

・委託業者：信州配食サービス

・実施状況

利用者（対象者）	人数
65歳以上のひとり暮らしの方	137名
高齢者のみの世帯で、食事づくりが困難な方	71名
ひとり暮らしの障害者	3名
寝たきりの人がいる2人世帯	3名
その他 ①昼間は高齢者のみとなり、調理が困難な方	56名
②昼間は障害者のみとなり、調理が困難な方	6名
③社協会長が必要と認めた方	17名
合計	293名

・利用実績（前年度と比較し、6,122食の増）

延べ利用者数	新規利用者数	延べ配食数	おかずのみ
2,076人	124人	39,853食	25,413食

## 4 権利擁護事業

(1) 日常生活自立支援事業 1,600,994円

認知症高齢者、知的障害者、精神障害者など判断能力が不十分な方に対して、住み慣れた地域の中で生活ができるように、福祉サービスを利用するときの手続きや利用料の支払いのお手伝い、または日常生活に必要な預貯金の出し入れや書類等の預かりを支援します。長野県社協が事業の実施主体となり、茅野市社協は富士見町と原村を管轄する基幹的社協に位置付けられています。

茅野市社協では、担当職員（専門員）を配置し当事業に関する相談に応じるほか、預貯金の払戻しや相談に応じる生活支援員を茅野市2名、富士見町4名、原村1名の7名を配置し、利用者の訪問援助を中心に事業を実施すると共に、保健福祉サービスセンターに配属したCSWが、金銭の受け渡し等の実務を含め訪問活動を行いながら課題解決を図ると共に、事業の普及、啓発に努めました。

また、平成27年度の主要検討事項に掲げていた法人後見の取り組みについて、日常生活自立支援事業の利用者が成年後見制度を活用した支援が必要となったため、法人後見運営委員会を設立し、法人後見受任に向けた取り組みを実践しました。

法人後見は、茅野市社協が成年後見人、保佐人もしくは補助人になり、判断能力が不十分な人の成年後見制度に基づく後見事務（財産管理や身上監護）を行い、高齢者や障害者の権利擁護を図ることを目的に支援活動に取り組みます。諏訪家庭裁判所から法人後見を1件受任しました。

- ・相談件数等：630回、16,082件
- ・契約内容：新規契約締結件数：12件  
実契約件数：39件（平成28年3月31日現在）  
（内訳：茅野市：33件、富士見町：3件、原村：3件）
- ・法人後見件数：1件
- ・後見活動内容：不動産売買における手続き、相続放棄における手続き、入院に伴う日用雑貨購入に伴う金銭管理 ほか

## 5 生活困窮者支援事業

(1) 生活福祉資金貸付事業 1,813,400円

低所得者、障害者世帯、高齢者世帯を対象に生活福祉資金を貸付、世帯の自立を支援しました。また、今年度より生活困窮者自立支援法が施行されたのに伴い「まいさぼ茅野市」と連携し相談支援に努めました。

生活福祉資金事業の担当者会議や研修会への参加、支援機関との連絡会に出席し、スキルアップや取り組みの共有を図りました。

・貸付実績

資金名	平成27年度貸付		平成26年度貸付		貸付残額	
	件数	金額（元金）	件数	金額（元金）	件数	金額（利子含む）
総合支援資金	0	0円	0	0円	11	2,781,949円
離職者支援資金	0	0円	0	0円	1	81,112円
生活福祉資金	6	1,095,000円	2	180,000円	26	10,658,412円
不動産担保型長期支援資金	0	0円	0	0円	1	5,689,715円
臨時特例つなぎ資金	0	0円	1	20,000円	0	0円
合計	6	1,095,000円	3	200,000円	39	19,211,188円

・資金貸付内訳：技能習得1件、教育支援1件、緊急小口資金4件

- ・相談人数：57人（暮らしのつなぎ資金貸付事業との合計）
- ・償還完了件数：4件  
（償還免除件数：4件、理由：債務整理、服役中の為、延滞利子のみ、心身不良）
- ・訪問、電話等による資金貸付相談・償還指導件数 388件（暮らしのつなぎ資金貸付事業との合計）

(2) 暮らしのつなぎ資金貸付事業 235,000円

市内の要保護世帯及び母子世帯等に対し、一時生活のつなぎ資金を必要とする場合の短期（返済期間は6ヶ月以内）の無利子融資（貸付限度額4万円）で、自立更正等を図る自主事業として実施しました。

資金名	平成27年度貸付		平成26年度貸付		貸付残額	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
暮らしのつなぎ資金	8	235,000円	3	70,000円	9	288,000円

- ・相談人数：57人（生活福祉資金貸付事業との合計）
- ・償還完了者：10人
- ・訪問、電話等による資金貸付相談・償還指導件数 388件（生活福祉資金貸付事業との合計）

(3) 生活困窮者自立支援事業 540,000円

生活困窮者自立支援法に基づく生活困窮者の中において、家計における収支バランスが取れないなど、家計に問題を抱える対象者に対し、家計に関する相談に応じ、家計の収支等に関する課題を把握するとともに、相談者の家計再建・生活再建に向けた意欲を引き出した上で、相談者自身の家計を管理する能力を高め、早期に生活が再生されることを目的に、家計管理の視点から必要な情報提供や専門的な助言・指導等を行いました。

- ・実施件数：2件

## 6 交流・ふれあい事業

(1) 希望の旅事業 372,000円

日ごろ、遠方に出かける機会の少ない障害のある方々を対象に、ゆっくりと楽しいひと時を過ごし、参加者同士の交流を深めていただくことを目的として実施しました。

実施日	行き先	参加者
10月13日（火）	群馬サファリパーク	障害者 : 12名 家族介助者 : 9名 ボランティア他 : 4名 計25名

(2) 家庭介護者交流事業 546,000円

家庭で介護をされている方々を対象に、食事や温泉入浴、レクリエーションなどを通じて相互の情報交換や仲間づくりをしていただきます。また、介護や健康相談などに応じることで、悩みや心配事の解決を図りました。

- ・実施状況

実施日	行き先	参加者	内容
第1回 9月29日（火）	駒ヶ根市	28名	養命酒工場見学、昼食会
第2回 2月23日（火）	エキシブ蓼科	36名	温泉入浴、昼食会、レクリエーション

## 7 ボランティア・市民活動推進事業 25,550,402円

- (1) ボランティア活動及び市民活動の推進・支援・連絡調整を図ると共に、活動の充実のための環境整備に努めました。また、ボランティアグループ、個人ボランティアの登録制度の見直し、整備を図りました。



① ボランティア・市民活動センター運営委員会開催

ボランティア活動・市民活動の主体性を尊重すると共に、センターと協働しながらセンターの事業を推進するため、運営委員会（委員数15名）を開催しました。

- ・運営委員会：11回
- ・三役会：8回

② 地区ボランティアコーディネーター育成支援

地区ボランティアコーディネーターが、各地区のボランティア活動について情報交換をし、理解を深めました。（地区社協会長：推薦・社協会長：委嘱）

○連絡会の開催 計7回（委員：17名）

○地区社協会長、地区ボランティア会長、地区ボランティアコーディネーター合同会議開催

- ・開催日：2月3日（水） 地区ボランティアコーディネーターについて意見交換。
- ・地域の支援体制も変わってきたことを受け、今後については地域活動に事務局が積極的に関わっていくこととし、平成4年から委嘱をしてきた地区ボランティアコーディネーターの設置終了及び平成28年3月末を以って地区ボランティアコーディネーター連絡会を解散としました。

○県ボランティアコーディネーション力研修の参加

- ・開催日：7月25日（土）
- ・会 場：茅野市役所
- ・参加者 地区ボランティアコーディネーター 5名

○先駆的活動の視察研修

- ・実施日：12月16日（水）
- ・視察先：山梨県立防災安全センター
- ・目 的：地域の防災や安全に関わる活動に生かせる体験と防災知識を学ぶ

③ 地区（区・自治会）ボランティア活動支援

地区（区・自治会）では、“閉じこもり”や“孤独”を防ぎ、「寝たきり予防・認知症予防」につながるといわれている『いきいきサロン活動』をはじめ、各集落で工夫をしてボランティア活動が行われており、住民同士の交流の場が広がっています。

地区ボランティア活動の内容を把握し支援内容を検討、実施するため、各地区のボランティアの会の会合に地域生活支援係の地区担当者と出席しました。

- ・開催：地区9、区・自治会56 計65ヶ所

開催内容	開催回数	利用者数	ボランティア数
いきいきサロン（お茶会）	72（22）	1,169（300）	567（46）
いきいきサロン（昼食会）	143（12）	2,802（416）	1,421（128）
宅配（配食）弁当	34（7）	1,573（1,238）	472（272）
その他（料理講習会、世代間交流）	175（47）	1,080（540）	264（472）

※その他の数値には、例会等の活動が反映されていません。

※（ ）内の数字は、地区ボランティアとして開催した実績

○活動内容

- ・高齢者等への弁当の宅配：地区社協、民生児童委員、福祉推進委員と協働
- ・高齢者等への昼食会：地区社協、民生児童委員、福祉推進委員と協働
- ・料理教室、おやき作り、まゆ玉作り、福神漬け作り
- ・児童の登下校の見守り
- ・育児相談会への支援協力
- ・水鉄砲づくり、しめ縄づくり（世代間交流）
- ・地区内の福祉祭りへ協力
- ・花壇作り、ふれあい囲碁 ほか

④ いきいきサロン活動支援（地区ボランティアグループ活動支援）

茅野市いきいきサロンサミット2015『れつつスマイル！ れつつレクリエーション！！』健康作りに生かせるコミュニケーションゲームを体験し、その後、それぞれの活動の中で実際に活用し役立てていただいています。

- ・開催日：12月18日（金）
- ・会場：茅野市役所
- ・参加者：100名（地区ボランティア以外の活動者を含む）
- ・講師：長野県レクリエーション協会会長 竹中雅幸氏

⑤ 地区ボランティアグループの先進地視察

地区ボランティアグループ会員の資質向上や情報収集と交流を目的として実施しました。

開催日	実施グループ	視察先
7月16日（木）	豊平地区ボランティアの会	長野市 駒沢新町第二団地「おしゃべりサロン」 長野市 安茂里地区園沖区支えあい活動 等
11月13日（金）	金沢地区ボランティアの会	長野市まちなかの縁側の素『唐臼のサロンよって亭』
3月9日（水）	豊平地区ボランティアの会	介護付有料老人ホーム「ラ・ナシカちの」 特別養護老人ホーム「りんどう苑」

⑥ ボランティアガイダンス開催

ボランティア活動に関する様々な情報提供を行い、各グループの活動の充実と発展を図るために、総合福祉センターの会場使用、備品貸出、ボランティア保険の説明等を行いました。

- ・開催日：3月2日（水）、2回（昼・夜）開催
- ・会場：茅野市役所
- ・参加グループ：70団体

⑦ ボランティア活動相談・コーディネート

○相談と支援

ボランティア・市民活動団体、市民、学校、企業、行政など様々な団体及び個人からの相談に対し、情報提供や関係機関などへのコーディネートを行いました。

- ・相談件数：170件

○茅野市ボランティア・市民活動センター登録グループ

- ・登録団体数：135団体
- ・延べ登録活動者数：4,127名

⑧ ボランティア保険加入状況

ボランティアの方々が安心して活動に取り組めるよう、加入促進を図りました。

保険の種類	掛金額（単価）	件数	人数
活動保険 基本タイプA	年300円×人数	100件	1,530人
活動保険 基本タイプB	年450円×人数	5件	35人
活動保険 天災タイプA	年460円×人数	5件	19人
活動保険 天災タイプB	年690円×人数	5件	10人
行事用保険（A1プラン）	1日28円×人数	39件	2,129人
行事用保険（A2プラン）	1日126円×人数	1件	126人
行事用保険（Bプラン）	1日248円×人数	1件	5人
送迎サービス補償（Aプラン）	1日20円×延利用者数	3件	292人
送迎サービス補償（Bプラン）	年間2,000円×法定乗車定員数計	0件	0人
福祉サービス総合補償（Aプラン）	1日17円×人数	2件	115人
福祉サービス総合補償（Bプラン）	1日28円×人数	1件	816人
福祉サービス総合補償（Cプラン）	1日42円×人数	3件	942人

- ・保険請求件数：7件
- ・保険金支給件数：6件
- ・大規模災害特例：1件（天災タイプA 5人 上記集計に含む）

⑨ 備品の貸し出し状況

備品名	貸出件数
機材（スクリーン・プロジェクター・テント・CDプレイヤーなど）	43件
イベント用品（ガス2升釜、ガス3升釜、災害用大釜、はっぴ、おんべなど）	267件
福祉図書、DVDなど	1件
福祉用具（高齢者疑似体験セット・アイマスク・展示セットなど）	50件
福祉レクリエーション用品（輪投げ・ダーツ・ビンゴゲームなど）	32件
車いす（自走用・介護用）	80件

⑩ どっこいしょ広場の運営管理

市民が自由に集える場所として、平成14年3月にベルビア1階に開設されたどっこいしょ広場を、気持ち良く使っていただくため、設置されている給茶機の管理と併せて定期的に巡視を行っています。現在二つのボランティア団体（ボランティアグループどっこいしょ・ともしび会）が年間を通して月1回の活動を続けています。また、掲示板として設置されている「かわら版」を活用して、ボランティア活動、市民活動の情報発信が行われています。

- ・設置されている給茶機の利用者数：平均146人/日

⑪（仮）市民活動センター開所に向けた準備

茅野市が主催する（仮）市民活動センター設置に関する市民会議に出席し、開所に向けてボランティア・市民活動センターの業務仕訳を検討するなど準備に取り組みました。

(2) ボランティア活動の活性化や、新たな活動者を広げることを目的とした広報啓発、講座等を実施しました。

① ボランティア広報啓発

○情報紙の発行

ボランティア・市民活動センター情報紙「たまご」の発行及び、ボランティア（グループ）活動に役立つ情報発信を行いました。月1回、全戸配付 19,250部

○ボランティア活動紹介

毎月発行している、ボランティア・市民活動センター情報紙「たまご」内で、ボランティア活動紹介を掲載しています。また、ビーナチャンネル内ボランティア団体紹介コーナー「シャララ～ボランティアの輪～」にて、ボランティア団体の活動を紹介し、活動に取り組む団体の情報発信を行いました。月に1回更新。

○茅野市ボランティア・市民活動センター「かわら版」の活用と管理

市内郵便局（簡易郵便局を除く10局）に設置された掲示板「かわら版」を活用して、ボランティア活動、市民活動の情報や茅野市ボランティア・市民活動センターの情報を発信

② シャララカレッジ開催

年間を通じた講座のテーマ「つなぐ」に即したイベント・講座の開催により、ボランティア活動の活性化や、新たな活動者を広げることを目的とし、ボランティアの基本を見つめ直す講座を開催しました。

講座名	開催日/会場 参加者	内容	講師等
総合福祉センター 「ありがとうイベント」	5月17日（日） 茅野市総合福祉センター 約100名	・総合福祉センターの取り壊しに伴い、今まで利用をした市民・活動者を対象に参加者を募り、壁アートの作成や催し物を開催。	実行委員会形式で開催 (壁アート協力者) ・東部中学校・北部中学校 ・長峰中学校・茅野高校 ・東海第三高校

講座名	開催日／会場 参加者	内容	講師等
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新センター開所に向けての思いをつなぐ機会となりました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・諏訪東京理科大</li> <li>・市役所職員・一般市民</li> <li>・社会福祉協議会職員〈催し物協力者〉</li> <li>・笑いヨガ 西田早苗氏</li> <li>・手話ダンス千の風</li> <li>・コールフェミニーレ</li> <li>・原房子氏</li> <li>・諏訪東京理科大ボランティア</li> <li>・茅野市手話サークル</li> <li>・ちーぼ</li> </ul>
<p>シャララカレッジ① 地域のなかの“つながり”を考える ～ボランティアで実施される宅配弁当を通して～</p>	<p>9月14日（月） 茅野市役所8階大ホール 約140名</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地区で実施されているボランティア活動の一つとして「宅配弁当」があります。</li> <li>・この「宅配弁当」から生まれた地域での“つながり”についてのお話を聞きながら、小地域単位で活動をするみなさんと地域のニーズについて一緒に考え、新たなつながりの発見ができる機会となりました。</li> </ul>	<p>〈ファシリテーター〉 ボランティア・市民活動センター運営委員 原房子氏 〈パネラー〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ちの地区ボランティアの会 五味富子氏</li> <li>・玉川地区ボランティアの会 伊東ますみ氏</li> <li>・南小泉区ボランティアの会 朝倉美代子氏</li> <li>・塩沢区ボランティアの会 野沢千穂子氏</li> </ul>
<p>シャララカレッジ② 伝えたい！私の活動～どう伝える？活動の魅力～</p>	<p>11月8日（日） 茅野市役所議会棟大会議室 9グループ (21名)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動を広げたい、知ってほしい時に、どのような内容で伝えると、より分かりやすく、魅力的に伝わるのかをそれぞれのボランティア活動者が発信できるような学びの機会としました。</li> <li>・また、ここで作成したPRポスターは、ボランティア・市民活動センターにて「ボランティアをしたい、してほしい」ニーズに対して閲覧し活用するための「ボランティア活動魅力BOOK」へ掲載をしました。</li> </ul>	<p>〈ファシリテーター〉 長野県長寿社会開発センター理事長 内山二郎氏</p>
<p>シャララカレッジ③ 伝えたい！私の活動～どう伝える？活動の魅力～PART2 活動PRポスター制作</p>	<p>3月10日（木） 茅野市役所7階 3グループ (6名)</p>	<p>シャララカレッジ②の内容のポイントをおさえ、活動PRポスター作りを再度開催し、「ボランティア活動魅力BOOK」へ掲載し活用の充実を図りました。</p>	<p>ボランティア・市民活動センター職員</p>

③ ふれ愛フェスティバル開催（茅野市ボランティア連絡協議会共催）

ボランティアグループの活動紹介を通じ、お互いの活動を知る機会とするとともに、これからのボランティア活動の在り方を考える機会となるよう実施しました。

- ・開催日：10月3日（土）
- ・会場：やつがねホール
- ・参加者：約120名
- ・内容：ボランティアグループ活動発表  
 緑のカーテンコンテスト表彰式  
 講演『今後の福祉の動向とこれからのボランティア市民活動に求められるもの』  
 講師：日本福祉大学 教授 原田正樹氏

(3) 学校・地域との協働により「共に生きる」という視点を大切にしながら、子どもから大人までを対象とした福祉教室や講座を開催し、福祉教育・ボランティア学習を展開する学校教員や地域住民の方々と、“ふくし”の心を育むことの意義を共有すると共に、今後のよりよい実践に繋げていくための情報交換の機会をつくりました。

① 福祉教育の実施

高齢者や障害のある方との交流や、車いすやアイマスク体験を通して、児童や生徒、先生がたと一緒に『共に生きること・共に学びあうこと』を考えていただくことを目的に福祉教室を実施しました。

開催数	開催学校数	延参加者数
36回	10校	898名

② 社会福祉普及校指定

小学校・中学校・高等学校を『社会福祉普及校』として指定し、児童・生徒の社会福祉への理解と関心を高め、他人に対する思いやりの心や主体性を育てると共に、児童・生徒を通じて家庭及び地域社会の啓発を図ることを目的として、各校に30,000円の補助金を交付しました。

学校名	活動内容
永明小学校	「いろいろな人と交流しよう」特別支援学校児童、幼稚園児、保育園児、ボランティア、地域の方々と交流
宮川小学校	全委員会による“なかよしオリンピック”の開催、福祉ボランティア委員会による車いす・高齢者疑似体験
米沢小学校	花田養護学校児童の生活や学習の様子を知り、会って交流しそれぞれの場で活躍している人がいる事を知る。
豊平小学校	視覚障害者からの生活の様子等の講話と、点字体験。障害者への関わり方の一助を理解
玉川小学校	パンジーを栽培し入学式・卒業式に向け校舎内外に設置、来校者・地域住民の方々の心を彩る環境整備を行った。
泉野小学校	福祉交流活動（収集活動・花の栽培や草取り・障がい者との交流・高齢者施設入所者との交流）
金沢小学校	自分と立場が違う人生の先輩（聴覚障がい者・視覚障がい者・身体障がい者）から生き方を学ぶ
湖東小学校	出前福祉教室（障がい者との交流・福祉体験学習等）、わくわく講座（ボランティア講座）
北山小学校	出前福祉教室（手話を覚えよう・目が見えない世界を知ろう等）、人権カルタ、施設訪問
永明中学校	地域高齢者やちの保育園児との交流により自己肯定感を育て、社会参画の意識を高める。

学校名	活動内容
長峰中学校	三校合同清掃活動、地区花壇づくり
北部中学校	石川文洋さんによる人権、平和（ベトナム戦争）学習講演会
東部中学校	ユニバーサルデザインの学習、介護福祉施設訪問、身体障がい者の講話と車いすバスケットの体験 東日本大震災医療支援活動者の講話、募金活動、収集活動
茅野高等学校	やすらぎ喫茶(手作り菓子を持参し高齢者施設を訪問、交流)、国際交流体験活動
小学校：9校 中学校：4校 高等学校：1校 合計：14校	

③ サマーチャレンジ開催

活動プログラムを体験していく中で、ボランティアへの正しい理解と関心を深め、今後の活動へのステップにすることを目的に実施しました。

実施日	内容	協力施設	参加者
7月24日（金） ～ 8月28日（金）	福祉施設等でボランティア体験を通じ、施設の役割や利用者などとの交流を深める。	市内の33施設内、 実際の体験施設17 施設	31名（小学生7名、中学生11名、高校生6名、専門学校生1名、福祉大学校生5名、大学生1名）

(4) 自主的で継続的なボランティア活動の育成・支援を目的に、グループ活動の事業費補助を行いました。

○ ボランティアグループ活動助成金交付

茅野市における地域福祉の向上を目指し、福祉活動に関する地域住民及び民間団体の自主的で継続的なボランティア活動を育成及び助成することを目的として、ボランティアグループの活動に対し、必要な資金の助成を行いました。

- ・ 1回目交付：29団体 計 1,129,220円
- ・ 2回目交付：3団体 計 130,000円
- ・ 交付実績合計：32団体 1,259,220円

(5) 市民団体やNPO法人等、諸団体との関わりを積極的に持ち、活動や取り組みを支援または協働で実施しました。

① ひとにぎりのお米（支援米）の取り組み

この取り組みは、平成13年から続いており、不況やリストラ、倒産などの影響から野宿生活を余儀なくされている方々等を支援するため支援米を募り、各支援団体に送っています。

また、東日本大震災の発生を受け、被災地の仮設住宅で生活されている世帯にも支援（送付及び配布）しました。

- ・ 取り組み期間：11月2日（月）～12月4日（金）
- ・ 協力してくださった方々：19グループ、個人76名
- ・ 収集実績：玄米1,365kg、白米1,364kg、もち米271kg、野菜、菓子
- ・ 送付先：NPO法人おおぞら（大阪府淀川区野宿者支援団体）  
SOSネットワーク諏訪（諏訪地区生活困窮者支援団体）  
岩手県宮古市赤前仮設住宅（被災地仮設住宅生活者）  
きずな村（ながのパーソナル・サポート・センター）  
児童養護施設つつじが丘学園  
市内、生活困窮者

② ボランティア連絡協議会活動支援（加入団体：48団体）

茅野市ボランティア・市民活動センターとの協働事業を実施する団体として支援しました。

主な事業内容は、緑のカーテン大作戦、市長と語る会、茅野どんぼんふれあい連、チャリティーマーケット、社協会長と語る会を実施しました。

(6) 災害時に備えた体制整備と災害ボランティア活動支援対応をしました。

① 避難所運営ゲーム研修会参加(茅野市レスキューネット主催)

- ・開催日：7月9日(木)
- ・会場：この地区コミュニティセンター
- ・参加者：職員14名
- ・内容：「避難所運営ゲーム(HUG)」を使って、避難者の年齢や性別、国籍やそれぞれが抱える事情が書かれたカードを、避難所の体育館や教室に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、また避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを模擬体験するゲーム形式の研修で、災害時に備えた訓練として、避難所運営を考える一つの機会となりました。

② 平成27年9月7日台風第18号等による大雨被害への災害支援

- ・情報収集、情報提供及びニーズに対するコーディネート対応をしました。

## 8 共同募金配分金事業

5,668,223円

平成27年度は、茅野市社協から地区社協事業への助成、小学校・中学校・高等学校の福祉活動への助成、市内ボランティアグループへの活動助成を行いました。

各学校の福祉活動助成及びボランティア活動助成の詳細については、ボランティア・市民活動センター「社会福祉普及校」(p21、22)及び「ボランティア活動助成金」(p28、29)参照

- ・茅野市社協への配分 1,120,780円
- ・小学校・中学校・高等学校の福祉普及活動への配分 420,000円
- ・地区社協への配分 2,650,223円
- ・ボランティアグループへの配分 1,259,220円
- 計 5,450,223円

① 茅野市共同募金委員会事務局

長野県共同募金会茅野市共同募金委員会の事務局として、赤い羽根共同募金運動全般のとりまとめを行いました。

- ・募金期間：10月1日～12月31日
- ・募金総額：8,613,260円(H26年度9,027,223円)

② 災害義援金の取り組み

日本国内で発生した災害に対して、災害義援金の募集に取り組みました。

義援金名	募金額	送付先
宮城県・茨城県・栃木県台風18号等大雨災害義援金	23,907円 (各7,969円)	宮城県共同募金会 茨城県共同募金会 栃木県共同募金会

## 《居宅介護等事業》

### 1 居宅介護支援事業

15,798,877円

介護支援専門員が依頼を受け、利用者に応じた適切な「居宅介護サービス計画書」を作成し、計画に基づいたサービスが提供されるようサービス提供事業者等と連携を図り、利用者が安心して在宅生活を送れるよう援助しました。

○事業実績表

居宅介護事業所													
居宅介護支援	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険利用者数	136	129	125	129	125	132	120	122	119	107	106	101	1,451
介護予防利用者数	17	15	15	13	15	16	14	11	16	13	13	18	176

2 訪問介護事業（東部・西部）

83,689,956円

東部・西部訪問介護事業所のホームヘルパーが、高齢者及び障害者宅を訪問し「訪問介護計画書」に沿い、安心した在宅生活が送れるよう身体介護・生活援助の介護サービスを提供しました。

○事業実績表

東部訪問介護事業所														
訪問介護	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
利用者数	83	79	83	88	82	85	82	81	76	69	69	69	946	
身体介護	回数	429	348	390	368	322	378	425	357	344	300	303	348	4,312
生活援助	回数	357	350	345	407	414	380	351	360	375	379	342	325	4,385
身体生活	回数	96	109	123	113	103	107	98	88	76	72	70	81	1,136
介護予防	回数	75	78	76	90	94	91	99	88	94	79	88	82	1,034
計	回数	957	885	934	978	933	956	973	893	889	830	803	836	10,867

西部訪問介護事業所														
訪問介護	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
利用者数	81	81	81	84	83	82	84	82	82	78	81	72	971	
身体介護	回数	556	557	483	534	533	526	488	397	442	462	404	377	5,759
生活援助	回数	259	254	228	246	238	263	256	211	204	209	234	228	2,830
身体生活	回数	134	169	139	122	113	123	129	128	160	109	134	104	1,564
介護予防	回数	155	159	176	173	159	151	155	155	148	124	145	128	1,828
計	回数	1,104	1,139	1,026	1,075	1,043	1,063	1,028	891	954	904	917	837	11,981

障害者サービス（居宅介護）（同行援護）													
自立支援法 (身体・知的・精神)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
東部訪問介護	7	6	6	6	7	8	8	8	8	8	8	7	87
西部訪問介護	10	10	11	10	10	11	11	11	12	12	10	9	127
利用者数計	17	16	17	16	17	19	19	19	20	20	18	16	214

(人)

障害者サービス（移動支援）													
自立支援法 (身体・知的・精神)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
東部訪問介護	3	3	3	3	3	3	3	3	2	1	2	3	32

(人)

3 西部デイサービス事業

70,257,743円

西部デイサービスセンターにおいて、「通所介護計画書」に沿った入浴、排泄、食事の介助、機能訓練その他必要な介護サービスを提供しました。



○事業実績表

西部デイサービスセンター													
通所介護	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険実人数	65	59	58	61	59	62	63	66	66	58	60	59	736
延利用回数	478	482	519	552	496	466	523	494	499	435	466	473	5,883
介護予防実人数	14	15	14	13	13	15	12	11	12	9	8	11	147
延利用回数	80	79	80	73	66	81	70	56	67	45	39	54	790

《障害者福祉サービス事業》

1 障害者相談支援事業

418,000円

平成26年12月、あすなろセンターに「指定特定相談事業所」を開設し、市役所や保健福祉サービスセンターからの問い合わせや障害のある方からの相談に応じたり、必要な情報提供や助言等を行いました。

障害のある方が福祉サービスを利用する際には、各関係機関と連絡を取りながらサービス等利用計画書を作成し、関係者を招集してサービス等関係者調整会議を開催すると共に承認された計画書を市役所に提出いたしました。

○営業活動

- ・市役所福祉関係者へ引き続き周知しました。
- ・諏訪圏域障害者総合支援センター「オアシス」にも連絡を取り、引き続き関係機関への周知をお願いしました。
- ・諏訪地域障がい者福祉自立支援協議会が発行する「障がい者福祉サービス利用ガイドブック」に掲載をお願いし、諏訪地域に配布いただいています。
- ・あすなろセンターを訪問される民生児童委員などにパンフレットを配布して周知を図っています。

○相談支援状況

- ・相談契約者：45人（内訳 茅野市42人、諏訪市2人、下諏訪町1人）
- ・計画作成・モニタリング件数：97件

2 就労継続支援B型事業（あすなろセンター）

28,809,075円

あすなろセンターにおいて、民間企業等に雇用されることが困難な障害者の方に就労の機会を提供し知識や能力向上の訓練等を行いました。

○通所人員

24名（平成27年4月1日現在）

25名（平成28年3月31日現在）

○作業内容

ボカシ製造・販売、寒天袋詰め作業、にんにくの皮むき作業、スティック焼印画工、安全ピン組・袋詰め作業、紙の型抜き、部品組み立て作業、諏訪合同庁舎清掃、上古田公民館清掃作業、牛乳パック収集、アルミ缶・スチール缶収集、看板製作、シュレッダー作業、赤い羽根作業 ほか

○取引業者

寒天：(有)イリイチ、にんにく：レストラン梅蔵、スティック焼印：相吉産業、清掃・牛乳パック：長野県セルフセンター協議会、缶類：(有)手沢商店、型抜き：プリテック

- 総収入額 5,808,977円（平成28年3月31日現在）
- 必要経費 489,777円
- 実質収入額 5,319,200円
- 平均賃金 11,857円（25人としての1か月平均）
- 35,238円（年2回の平均手当/25人）

○目標

- ・自主通所することにより社会生活の場を広げ、多くの作業種目を体験し、各行事を通して仲間と関わりあいながら、ボランティアグループ等（茅野市民生児童委員、虹の会など）との交流を深め、生活習慣の改善や心身向上等身体機能の保持をめざした活動をする。
- ・賃金向上計画に基づき、各利用者賃金が前年対比を上回るように、発注先を確保できるように努める。

○諸活動等

《年間を通して実施したもの》

- ・機能訓練として月1回程度軽スポーツ訓練等を実施
- ・民生児童委員8地区、述べ人数48名との訪問交流
- ・手話ダンスボランティア「虹の会」との交流会を毎月1回実施
- ・誕生会を当該月中に実施
- ・諏訪養護学校生徒現場実習受け入れ
- ・定例社協職員会議 毎月中旬実施
- ・定例職員会議 毎月下旬実施

《個々に実施したもの》

- ・入所式 諏訪養護学校卒業生2名 4月1日（水）
- ・平成27年度 保護者会総会 4月10日（金）
- ・市民館10周年イベント J O M O P A参加 4月27日（月）
- ・諏訪地区身障者スポーツ大会 会場 茅野市運動公園 5月30日（土）
- ・「第34回ふれあいのつどい」への参加 茅野市民館 8月30日（日）
- ・ミニ運動会 ちの地区コミュニティセンター 10月20日（火）
- ・クリスマス会 「ごんじいさんとその仲間たち」 12月9日（水）
- ・お楽しみ会・昼食会 12月22日（火）
- ・外食会 呉竹鮎 3月24日（木）

○通所者の状況及び課題

- ・平成27年度は、諏訪養護学校の卒業生2名の入所がありました。6月にピアあすなる通所者1名が地域活動支援センターと兼ねて就労継続支援B型へ週3日通所を開始し、通所者は22名となりました。この通所者は、2月に地域活動支援センターから就労継続支援B型へ完全移行しています。
- ・平成24年から就労継続支援B型事業所に移行したことにより、安定継続した収入の確保の取り組みが必要となっています。これからも施設等の体制を整えるとともに、地域活動支援の場として仕事、体力、生活面の指導に力を入れ、通所者が社会人として自立し、社会参加できるよう努めます。

○受注状況

- ・寒天事業者(有)イリイチさんのご理解とご協力により、寒天の袋詰め作業を受注いただいております。受注生産収入の主な作業として多くの利用者で取り組んでいます。製品への不純物混入防止のために封入までの確認検査を徹底するなどの対応が必要であり、製品の完成までには時間もかかりますが、年度終盤の寒天ブームもあり納品数量は平成26年度を若干上回りました。

- 平成26年度より1社、年度途中で1社の併せて2社からの受注がなくなりましたが、平成26年度後半から受注いただいている1社と平成27年度新たに受注いただいている1社があり、受注生産の収入は平成26年度を上回っています。
- 受注ではありませんが、平成27年度中にアルミ缶・スチール缶の収集による引き取り価格が大幅に下落し、収入が1割程度減少しています。地域の皆さんからのご協力をいただきながら、収集量の増加を図ることによって収入額の維持に努めていきたいと考えています。
- 今後も利用者の工賃アップに向けて受注を安定的に確保し、他の仕事の開拓等を進めるなど、引き続き収入の確保を図りたいと考えています。

ボランティア活動助成金 交付団体

No	団体名 代表者名	結成年月 人数	交付申請 金額(円)	交付決定 金額(円)	助成対象申請事業内容
1	押花なでこの会 両角たか	平成14年3月 6	30,000	30,000	施設での押し花作品の制作を通じたふれあい活動。どっこいしょ広場作品展示。
2	おひさまクラブ 中柄房子	平成23年12月 16	45,000	45,000	実践での育苗・花壇づくり(ふれあいの里・塩壺ゆうゆう館)
3	親子うんどう ママだっこ 牛山とくみ	平成25年4月 70	50,000	50,000	親子での運動の中でスキンシップと、子供とのより良い関わり方を学ぶための居場所づくり。
4	親子サークルたんぽぽ 両角紗恵子	平成3年 8	15,000	15,000	親子のふれあい交流事業。子育てに関する講演会の開催。
5	傾聴ボランティア ひだまり 中村アツ子	平成17年10月 20	30,000	30,000	新しい人材の育成と、会員の資質向上を図るための、講習会の開催。
6	大正琴ロマンハーブの会 伊藤和子	平成9年4月 27	36,000	36,000	福祉施設等でのボランティア演奏。レベルアップのための研修や子どもたちを対象とした体験学習会。
7	玉川やんちゃサークル 成田里実	平成17年11月 23	25,000	25,000	親子交流と子どもたちの体験活動。
8	茅野おやこ劇場 中島裕美	昭和63年12月 181	50,000	50,000	表現遊びを通して、親子で遊ぶ楽しさを実感するためのワークショップ開催。
9	茅野市マジッククラブ 北原孝生	昭和60年4月 12	50,000	50,000	福祉施設や保育園でのマジック披露。小中学校クラブ活動の手伝い。
10	茅野市要約筆記グループ「ひまわり」 山本博子	平成12年4月 8	16,000	16,000	中途失聴や難聴者への情報保障と交流。要約筆記技術の体験講習会の開催。
11	茅野レスキューネット 宮外光夫	平成17年3月 15	30,000	30,000	避難所運営ゲーム「HUG」を使った実施訓練の開催。
12	のいちご会 伊藤美穂子	平成25年4月 12	50,000	50,000	幼児・未就園児と保護者の方と一緒に楽しむ自然観察、お散歩、野外炊飯
13	パーキンソン病からの贈り物の会 両角いく子	平成14年3月 24	40,000	40,000	パーキンソン病の治療に関する講演会、音楽、運動の正しい理解普及資料の作成
14	腹話術友の会茅野 水代彰子	平成5年12月 10	50,000	50,000	腹話術を生かした施設訪問。講習会の開催。
15	ふれジョブちの 林直樹	平成26年4月 25	40,000	40,000	地域の事業所・店舗等協力のもと障がいのある子ども達が半年間続けて週に1回1時間仕事体験を実施。
16	ボランティアグループ 幸せ応援団 山田武美	平成22年3月 20	32,000	32,000	認知症サポーター研修や認知症予防に関する講座の開催。
17	米沢読書ボランティアぽっかぽか 竹田弘子	平成12年9月 21	20,000	20,000	小学生を対象に読み聞かせや人形劇、朗読。未収園児から大人までを対象にパネルシアター・読み聞かせなど。
18	ちの地区ボランティアの会 五味清美	平成9年1月 167	50,000	50,000	手作り宅配弁当の実施。世代間交流。「いきいきサロン」の開催。
19	宮川ボランティア愛の会 茅野清子	平成5年12月 223	50,000	50,000	宮川地区「いきいきサロン」の開催。
20	米沢地区ボランティアの会 大下京子	平成5年2月 62	50,000	50,000	いきいきサロン、宅配弁当の実施。レクレーション研修会の実施。

No	団体名 代表者名	結成年月 人数	交付申請 金額(円)	交付決定 金額(円)	助成対象申請事業内容
21	玉川地区ボランティアの会 伊東ますみ	平成4年11月 114	50,000	50,000	いきいきサロン、宅配おやき作り、世代間交流。
22	金沢ボランティアの会 小松雄三	平成6年4月 92	40,000	40,000	いきいきサロン、料理講習会の開催。
23	湖東ボランティアの会 飯島優子	平成9年4月 34	35,000	35,000	地区・集落でのいきいきサロンの開催。
24	北山ボランティアの会 朝倉美芳	平成7年3月 42	50,000	50,000	地区・集落でのいきいきサロン、宅配弁当。
25	はなみずきの会(中大塩) 住田晴子	平成2年7月 32	50,000	50,000	ふれあい交流の場づくり、宅配弁当、いきいきサロン。
26	手話ダンス虹の会 篠原郁子	平成6年4月 15	36,000	36,000	手話ダンスを通して手話を学ぶとともに、地域のイベントや福祉施設等で披露し、ふれあい交流をする。
27	すみれの会 柳澤恵美子	平成25年12月 3	10,000	10,000	主に福祉施設等での音楽レクや、読み聞かせ工作を通じた交流。
28	認知症予防ネットちの 原房子	平成27年5月 5	49,220	49,220	地域や福祉施設で、軽度認知症の引き戻し、認知症予防のための、認知症予防のリーダーの育成と研修。
29	ママを楽しもうにじいろはらっぱ 野口留里子	平成26年7月 18	50,000	50,000	育児中の親子が安心して学び、相談し合える居場所づくり。
30	エンジェル絵手紙の会 篠原勲	平成11年7月 25	30,000	30,000	市内の社会福祉施設での絵手紙作成のお手伝いを通じての交流。作成した絵手紙の配布。
31	蓼科ベルの会かおじゅん 笠原香織	平成21年2月 5	50,000	50,000	ミュージックベルによる演奏を、福祉施設や保育園、地域のイベントなどで聴く人に合わせた構成に工夫し実施。
32	ハッピースマイル 秋山豊	平成17年10月 9	50,000	50,000	楽器演奏経験者により、保育園・福祉施設などで演奏をして、参加者との交流をはかる。
合計	交付団体数		32	32	
	交付金額		1,259,220	1,259,220	

目的・趣旨	主な取り組み内容	個別具体例	地区名										
			ちの	米沢	中大塩	宮川	金沢	豊平	玉川	泉野	湖東	北山	小計
1 生活状況の把握とニーズの早期発見	本人・家族からの情報収集	1 自宅周辺の状況を確認する。	83	35	31	106	52	120	215	84	211	348	1,285
		2 本人・家族に体調を確認。	195	196	98	171	86	119	199	92	284	354	1,794
		3 本人・家族に生活状況を確認。	200	191	77	174	91	119	193	93	296	337	1,771
	悩み事・困りごと・孤独感の相談	4 家族・本人の悩みを聞く。	151	49	9	71	19	121	98	91	397	52	1,058
		5 CM から情報提供を受ける。	21	2	1	33	3	4	31	5	101	17	218
		6 病院関係者 (Dr、NS、MSW等) から情報提供を受ける。	17	7	0	22	3	4	2	8	3	10	76
	他の職種機関からの情報収集	7 SCから情報提供を受ける。	35	8	14	159	19	4	2	16	101	86	444
		8 市担当課から情報提供を受ける。	5	1	1	6	3	0	4	0	9	9	38
		9 社協担当者 (サービス提供者含む) から情報提供を受ける。	43	30	8	93	11	3	0	2	41	32	263
		10 介護サービス提供者から情報提供を受ける。	6	4	0	13	8	0	1	1	5	27	65
		11 成年後見人等から情報提供を受ける。	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	5
		12 法的な専門家 (弁護士・司法書士・行政書士・会計士等) から情報提供を受ける。	1	0	0	0	0	0	0	0	4	0	5
		13 郵便局から情報を受ける。	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2
		14 民生から情報提供を受ける。	20	1	6	26	26	8	3	5	71	40	206
		15 福祉推進委員から情報提供を受ける。	0	0	3	0	0	0	0	0	0	2	5
		16 地域の役職者 (区長・地区社協役員・保護司等) から情報提供を受ける。	0	0	2	2	2	1	0	0	2	0	9
		17 地区ボランティアから情報提供を受ける。	5	1	0	0	9	0	5	0	10	3	33
	地域住民からの情報収集	18 近隣住民から情報提供を受ける。	13	1	1	2	3	2	1	3	1	26	53
		19 商店から情報提供を受ける。	0	0	0	3	0	0	0	0	7	1	11
		20 民間サービス提供者から情報提供を受ける。	4	3	2	2	0	1	0	0	2	2	16
		21 その他の地域住民から情報提供を受ける。	21	0	1	1	0	0	0	0	0	0	23
22 介護保険サービスの情報提供をする。		10	1	0	9	10	5	1	6	16	6	64	
23 介護予防通所事業の情報提供をする。		10	0	0	2	4	1	1	1	10	2	31	
24 市の担当窓口を紹介する。		6	0	0	1	2	0	0	2	2	3	16	
25 自立支援サービスの情報提供をする。		2	0	0	4	0	0	0	0	2	1	9	
26 成年後見人制度の情報提供をする。		0	0	0	4	0	14	0	0	3	0	21	
27 おたっしや弁当の情報提供をする。		55	1	0	26	8	1	6	6	21	14	138	
2 サービスや制度の利用に向けた間接的な支援	社協事業の情報提供	28 移送サービスの情報提供をする。	9	1	0	11	2	1	7	1	7	2	41
		29 シャララの情報提供をする。	36	0	0	9	4	1	1	4	6	8	69
		30 安心コールの情報提供をする。	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
		31 日常生活自立支援事業の情報提供をする。	2	0	1	7	0	0	0	2	12	2	26
		32 貸付の情報提供をする。	1	0	0	4	0	0	0	0	1	1	7
		33 塩つぼデイについての情報提供をする。	16	0	0	3	1	3	0	3	23	18	67
		34 いこいのつどい・希望の旅についての情報提供をする。	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
		35 民間配食サービスの情報提供をする。	2	1	0	1	0	1	1	4	1	2	13
	配食や清掃など、暮らしに関わる民間事業者の情報提供	36 掃除関連業者の情報提供をする。	2	0	0	0	0	0	0	1	1	2	6
		37 買い物代行業者の情報提供をする。	0	0	0	2	0	0	0	0	2	1	5
		38 外仕事 (草刈り、雪かき等) 業者についての情報提供をする。	0	0	0	0	1	0	0	0	0	5	6
	地域との接点づくりや社会参加への働きかけ	39 地区の取り組み (お助け隊、お買物バス等) の紹介をする。	0	0	0	5	0	0	0	0	0	1	6
		40 いきいきサロン参加への働きかけを行う。	5	0	0	0	1	0	0	0	0	0	6
		41 運動教室参加への働きかけを行う。	4	0	0	1	2	0	0	0	0	5	12
42 高齢者クラブ参加への働きかけを行う。		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
3 生活課題の解決に向けた直接的な支援	社協事業の利用申請	43 おたっしや弁当の申請をする。	30	4	2	16	7	13	5	8	10	4	99
		44 移送サービスの申請をする。	2	0	1	3	1	1	0	1	1	1	11
		45 シャララの申請をする。	4	2	0	2	0	1	0	1	1	2	13
		46 安心コールの申請をする。	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		47 日常生活自立支援事業の申請をする。	0	0	0	4	0	0	0	0	1	1	6
		48 貸付申請をする。	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		49 塩つぼデイの申請をする。	13	1	1	7	0	2	0	2	5	3	34
	社協事業による支援	50 日常生活自立支援を行う。	56	82	0	104	0	0	0	0	68	7	317
		51 償還指導を行う。	2	0	0	0	0	0	0	0	1	7	10
	本人や家族への生活状況の報告と改善の働きかけ	52 訪問販売対策やクーリングオフの対応をする。	2	0	0	0	0	0	0	0	8	0	10
		53 家屋内の整理、整頓ができるよう助言する。	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	6
		54 最低限の家屋の片付けをする。	5	4	0	6	0	0	0	0	0	1	16
		55 家族に生活状況を報告する。	11	0	0	9	4	2	2	0	13	0	41
		56 サービス利用の調整をする。	17	11	0	53	3	3	0	3	22	24	136
		57 移送の予約・キャンセルの受け付けをする。	2	10	0	30	0	4	0	5	1	3	55
		58 料金の支払いをする。	5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6
		59 手紙、書類等の代筆・代読をする。	2	0	0	1	0	0	0	3	6	0	12
事務・支払い手続き等の手伝い	60 業者の立ち合いを行う。	3	0	0	5	0	0	0	0	1	6	15	
	61 家族に支払の状況を報告する。	5	0	0	1	0	0	1	0	2	0	9	
	62 家族に緊急連絡をする。	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2	
	63 救急車を呼ぶ。	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	
	64 各機関 (CM・SC・民生・上司) へ緊急連絡をする。	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	3	
	65 CM へ情報提供をする。	4	3	1	15	6	11	3	9	26	17	95	
	66 病院関係者 (Dr、NS、MSW等) へ情報提供をする。	6	4	0	4	0	2	0	1	3	4	24	
4 周辺環境の整備と調整	他の職種機関への情報提供	67 SCへ情報提供をする。	38	5	9	68	19	25	9	21	119	100	413
		68 市担当課へ情報提供をする。	2	0	0	3	2	7	0	2	5	5	26
		69 社協担当者へ情報提供をする。	36	14	3	64	10	1	0	6	98	16	248
		70 介護サービス提供者へ情報提供をする。	15	1	0	6	1	3	0	0	2	15	43
		71 成年後見人等から情報提供を受ける。	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3
		72 法律の専門家 (弁護士・司法書士・行政書士・会計士等) へ情報提供をする。	1	1	2	0	0	0	0	0	4	0	8
		73 郵便局へ情報提供をする。	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
		74 民生へ情報提供をする。	7	0	0	11	7	4	0	0	27	0	56
	協力・連携の調整	75 支援協力のため、話し合いの場を設ける。	6	2	0	0	0	40	0	1	4	12	65
		76 担当者会議、カンファレンスに出席する。	9	3	0	7	0	1	0	3	3	23	49
77 各機関 (CM・SC・民生・上司・担当者等) と同行訪問をする。		47	10	3	63	29	0	5	18	30	3	208	
78 地域の関係者へ見守り、声かけ等の協力を依頼する。		11	1	0	1	0	0	0	1	8	0	22	
近隣とのトラブルの調整	79 近隣とのトラブルの調整をする。	10	0	0	0	0	0	0	0	1	0	11	
5 追加	80 緊急通報装置の紹介	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	
	81 病院受診同行	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	3	
	82 警察へ連絡する	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
	83 「こんにちは!社協です!!」の紹介と発送	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	84 金融機関からの情報提供	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	85 家族との保険の手続き・調整	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	86 障害者自立支援センターからの情報提供	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	87 シャララの同行訪問	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
		1,347	695	277	1,465	461	653	797	517	2,132	1,675	10,019	

目的・趣旨	主な取り組み内容	個別具体例	地区名											
			ちの	米沢	中大塩	宮川	金沢	豊平	玉川	泉野	湖東	北山	小計	
1	打合わせ・会議の実施	1 CCと打ち合わせを実施する。	5	8	13	20	4	5	4	0	31	22	112	
		2 SCと打ち合わせを実施する。	4	1	2	1	2	6	6	0	4	4	30	
		3 CC・SCと打ち合わせを実施する。	0	0	0	0	1	7	2	50	3	0	63	
		4 会長と打ち合わせを実施する。	16	0	0	25	4	10	12	0	5	22	94	
		5 CC・会長と打ち合わせを実施する。	0	5	10	15	5	4	2	14	2	9	66	
		6 三役会（幹事会）を実施する。	2	0	2	0	9	3	5	0	1	0	22	
		7 役員会を実施する。	6	3	2	8	2	17	5	0	11	8	62	
		8 委員会（連絡会）を実施する。	6	9	12	27	4	40	98	4	8	0	208	
		9 総会を実施する。	1	3	3	1	2	1	6	4	4	0	25	
	役割	10 受付を行う。	8	3	7	5	4	0	3	0	3	4	37	
		11 司会・進行を行う。	8	0	1	0	0	3	6	6	6	9	39	
		12 議事に関する説明、情報提供を行う。	8	6	12	25	16	19	11	21	13	13	144	
		13 記録を行う。	4	0	0	33	18	48	18	0	2	16	139	
	検討内容	14 事業内容等について検討する。	1	18	29	30	7	19	8	22	40	1	175	
		15 研修内容等について検討する。	1	5	16	2	3	7	3	9	12	0	58	
		16 人事について検討する。	1	0	0	3	2	0	1	1	22	1	31	
		17 助成金（応援メニュー、行動計画助成金等）について検討する。	7	1	0	2	0	1	1	0	21	0	33	
		18 事業の立ち上げ、見直し等について検討する。	3	2	5	1	18	0	4	10	0	0	43	
		19 地域福祉行動計画について検討する。	0	1	5	6	0	16	0	11	7	1	47	
		20 地域の情報誌（CC便り、地区社協だより等）について検討する。	3	2	0	3	0	0	8	2	0	0	18	
		21 支え合い、マップ等について検討する。	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	10	
2	事務関係	事務	22 業者・物品等の手配を行う。	0	1	6	13	0	0	1	5	3	8	37
			23 必要物品の買い出しを行う。	0	0	1	9	0	3	13	0	9	6	41
			24 通知の準備・発送等を行う。	9	2	3	4	0	6	3	27	12	15	81
			25 搬入物品の準備を行う。	2	2	1	16	7	0	2	0	2	1	33
			26 会場の準備を行う。	5	0	5	22	9	3	7	11	8	6	76
			27 支払い、精算等の会計事務を行う。	3	0	0	1	0	22	2	0	9	7	44
			28 資料を作成する。	9	7	18	46	0	0	8	35	12	16	151
			29 地域の情報誌（CC便り、地区社協だより）等を作成する。	7	1	3	3	0	0	0	2	0	3	19
			30 助成金（応援メニュー、行動計画助成金等）の事務を行う。	0	0	0	6	0	0	6	0	4	0	16
			31 地区の取り組み（お助け隊、お買い物バス等）の事務を行う。	0	0	0	28	0	0	28	0	0	0	56
			32 共募大口企業募金の事務を行う。	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	5
			3	支援	相談	33 住民活動等についての相談を受ける。	4	0	0	1	0	0	2	0
事業	34 事業を進行管理する。	0			1	1	4	0	3	1	3	9	6	28
	35 レクリエーションや情報提供等を行う。	18			5	0	4	5	27	7	6	16	14	102
	36 参加者（高齢者等）から情報収集を行う。	2			5	3	7	7	0	5	6	19	14	68
	37 事業のサポートをする。	3			4	7	9	8	0	6	28	2	3	70
研修	38 講師、会場、視察先等の手配を行う。	15			0	3	3	1	5	27	9	5	6	74
	39 研修会を実施する。	4			2	1	0	1	5	2	6	0	1	22
	40 視察研修に同行する。	1			0	2	1	1	2	7	3	1	1	19
	41 視察研修を受け入れる。	4			0	0	1	0	0	5	0	0	0	10
42 出前講座（認知症・マップ・特殊詐欺等）を実施する。	12	1			1	2	3	0	1	0	6	0	26	
地域支援	43 住民活動等についての支援を行う。	5	0	2	0	1	29	1	13	20	4	75		
	44 ボランティア活動等の支援を行う。	22	0	1	6	5	0	5	0	5	22	66		
	45 マップ作成、更新、活用のための支援を行う。	0	3	0	0	3	0	6	0	0	0	12		
4	追加	46 福祉推進委員長・社協三役と打ち合わせを実施。	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	8	
		47 福祉会正副会長・社協三役と打ち合わせを実施。	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3	
		48 赤い羽根共同募金協力依頼を行う。	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	
		49 視察先・講師と打ち合わせする。	0	0	4	0	0	0	4	0	0	0	8	
			209	102	193	393	152	311	352	318	346	250	2,626	